

令和8年度(2026年度)学校経営方針

校訓

よく考え学ぶ子ども
豊かな心をもつ子ども
命と体を大切にす子ども

学校教育目標

未来に向かい
よろこびをもって生きる
子どもを育てる

教育理念

誠実
信頼
愛情
感動・創造

目指す子供像

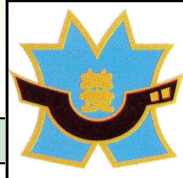
- 自ら考え、主体的な選択・決定ができる児童生徒
- 将来に向かって学び続ける児童生徒
- 自分や仲間を大切にし、協力する児童生徒

目指す学校像

- 児童生徒が安全・安心に学び、生活できる学校
- 児童生徒の可能性を信じ、学び続ける学校
- 保護者や地域に開かれ、共につくる学校

目指す教職員像

- 児童生徒の強みを生かし、可能性を信じ、学び続ける教職員
- 児童生徒・保護者・同僚・地域から信頼のある教職員
- 同僚と対話し、チームとして協働できる教職員



教育方針

児童生徒の人権を尊重し、一人一人の教育的ニーズに応じ、将来の自立と社会参加に向けた指導の充実を目指す。

- 1 人権尊重を基盤とし、一人一人の障がいの状態、発達の段階や特性等を理解した上で、学習指導要領に基づき、一人一人のねらいを明確にした教育活動の充実に努める。
- 2 地域資源の活用、地域貢献活動、交流及び共同学習など地域と連携・協働する教育活動の推進に努める。
- 3 学部内及び学部間、心の杜との連携に基づく一貫した生徒指導や進路指導の充実に努める。
- 4 現代の社会情勢の変化に対応した教育の推進や不測の事態等から身を守るための安全教育の充実に努める。
- 5 キャリア発達を促し、卒業後の地域生活が豊かで生きがいを感じられるものとなるよう本人・保護者の意向に寄り添った指導・支援に努める。

経営方針

教職員一人一人が協力・協働の意識を持ち、「チームベテカリ」として組織的で計画的な取組を進める学校経営を目指す。

- 1 心理的安全性と同僚性の向上によるチームワークづくりに努める。
- 2 教務、事務の各部門の協力・協働による安全安心な教育環境及び危機管理体制の整備に努める。
- 3 校内支援の充実に努めるとともに、特別支援教育のセンター的機能を発揮し、地域の各学校等の主体的な取組を支援するよう取り組む。
- 4 教職員の専門性（授業力・生徒指導力・ICT活用力等）を高めるとともに互いに磨き合う研修を推進する。
- 5 児童生徒の人権や個性を尊重するとともに、服務規律の保持や法令遵守を徹底し、説明責任を果たせる学校運営に努める。
- 6 教育活動・経営活動推進のため、学校予算の効率的な執行に努める。
- 7 教職員が自ら効率的な働き方を具体的に見直し、健康を維持し、「質の高い教育実践」と「持続可能な学校の実現」に努める。

令和8年度の重点実践事項

重点教育目標 児童生徒の可能性を伸ばすために、一人一人の教育的ニーズに応じた教育の充実を図る。

教育活動推進の重点

- 児童生徒が安全・安心に学び、生活できる学校
 - ・児童生徒の人権を尊重するとともに、いじめや不登校等への予防的取組と組織的対応の充実を図る。
 - ・教育公務員としての自覚をもち、児童生徒の手本となる行動を心掛ける。
 - ・安全安心な教育環境の徹底と事故等の未然防止に努める。(自分事として捉える意識の向上)
 - ・様々な災害を想定し、環境面の充実と学齢期に応じた「自分の命は自分で守る」ための実践的な安全教育を推進する。
- 児童生徒の可能性を信じ、学び続ける学校
 - ・障がいのある児童生徒に対する専門性に基づいた指導の充実を図る。特に自立活動の視点を踏まえた授業実践に努める。
 - ・「個別の指導計画」と授業の関連を明確にする。
 - ・学習場面でのねらいに沿ったICT機器の効果的な活用を推進する。
 - ・学校全体の共通理解に基づく一貫性のある指導を推進する。
- 保護者や地域に開かれ、共につくる学校
 - ・地域の小・中・高等学校との交流及び共同学習の発展・充実を図る。
 - ・地域で学び、地域に貢献する教育活動等を積極的に推進する。
 - ・「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を基に保護者と協力・連携するとともに、他機関との連携ツールとしての活用を図る。

経営活動推進の重点

- 児童生徒が安全・安心に学び、生活できる学校
 - ・心理的安全性を保障した組織づくりと児童生徒及び教職員のウェルビーイングの実現に努める。
 - ・信頼される学校に向け、教職員の服務規律保持や法令遵守の徹底を図る。
 - ・施設設備の現状把握に努め、優先順位に基づく改修・修繕を進める。
 - ・危機管理の意識を高め、事故防止と緊急時に備えた各種マニュアルの改善・整備を図る。
- 児童生徒の可能性を信じ、学び続ける学校
 - ・次期学習指導要領を見据えて、これまで実践してきた教育課程の成果や課題を整理するとともに、現行の教育課程の充実に努める。
 - ・児童生徒の障がいの状態や特性、地域性を踏まえた特色ある教育課程を編成・実施する。
 - ・ICTを積極的に活用し、効果的・効率的な業務や研修の促進に取り組む。
 - ・特別支援教育の専門性や指導力を高める研究や研修の充実を図る。
 - ・指導上の課題解決に向け、学校の組織的な対応力の向上に努める。
- 保護者や地域に開かれ、共につくる学校
 - ・学校運営協議会やPTA活動の工夫・改善に取り組み、保護者や地域等の学校経営や学校運営への参画を促進する。
 - ・保護者や地域等へ効果的な情報発信を行い、本校教育への理解を深める。

重点実践の具体的な取組

取組事項	児童生徒が安全・安心に学び、生活できる学校	児童生徒の可能性を信じ、学び続ける学校	保護者や地域に開かれ、共につくる学校
内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> □ 児童生徒一人一人の人権を守り、個性を尊重する意識の向上・醸成 □ 教職員の心理的安全性を保障した組織づくり・一人一人のウェルビーイングの実現 □ サービス規律の保持や法令遵守の徹底、特に個人情報管理の適切な管理 □ 施設設備の故障や破損に伴う迅速な改修・修繕の実施 □ 危機管理体制の整備と安全教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> □ 児童生徒の障がいの状態や特性、地域性を踏まえた特色ある教育課程の編成・実施 □ 教職員の指導力・専門性の向上、特にICT活用指導能力の向上(授業DX) □ ポータルサイトの整備やGoogleフォームの活用を進め、校務の効率化を図る(校務DX) □ 指導上の課題解決に向けた「チームベテカリ」としての組織力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> □ 地域の小・中・高等学校との交流及び共同学習の発展・充実 □ 保護者や地域への効果的な情報発信 □ 学校運営協議会の計画的な実施と教育活動への反映 □ PTA活動の事業計画の工夫・改善
評価	年度末反省/学校評価	年度末反省/学校評価	年度末反省/学校評価

研究主題

教師一人一人の気付きを活かしたチーム検討による自立活動を関連付けた「できる」を増やす授業づくり
～児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の充実を目指して～ (2カ年研究/1年次)